（大正九年十二月十四日第三種郵便物認可）

新京日日新聞
夕刊
十二月十六日（土）

各地共販組合
十二月一日業務開始
關係者會議で決定

滿洲國政府では稀有の豐作飢饉による特産暴落對策として嚢に黑龍江省内主要市場二十四ケ所に共同販賣組合を設け特産金融を行ひ資金難による農民の賣急ぎを緩和し、特産の暴落を阻止する共に特産商の投機的買付防止を圖ること に決定、共販組合の設立準備を急いで居たが、愈よ大豆も來月上旬より本格的出廻りをみるので、十七日財政部に於て各關係者集合、最後的打合せを行つた結果、各地共販組合とも一齊に十二月一日より業務を開始せしむることに決定した

東部シベリアの
資源開發を計畫

〔ハルビン十七日發國通〕モスクワ來電によればソ聯の重工業人民委員會は來る一九三四年度より東部シベリアのアンガル、エニセイ河の百八十五億の水力を利用し同地方十七ケ所に水力發電所を開設し十年より十五ケ年の尨大な計畫の下に東部シベリア一帶の天然資源の大々的開發に着手することゝなつたが同地方に埋藏されてゐる石炭だけでも實に二百八十五億噸に達し其他木材、各種鑛物は殆ど無盡藏と謂はれてゐる、尚モスクワ政府は將來同地方の水力を利用して歐亞聯絡の幹線をなす大シベリア鐵道の電化を行ふ計畫であるといふ

北鐵來年度購入
枕木
六十万本

〔ハルビン十七日發國通〕十五日の記者團との定例會見に於て李督辦の言明せるところに依ると 北鐵來年度に於ける使用枕木の購買は六十萬本と決定、本年内に準備することゝなつた、右の内、四十萬本は國内材よりこれを求め殘餘の二十萬本をザバイカル方面の露領材の供給に仰ぐものであると

對東亞勸業商
租問題解決に
營田地主
公會設立

〔奉天十七日發國通〕東亞勸業公司は事變後營口、平安一帶八萬畝に鮮人約三千名を使用し水田を經營、好成績を收めてゐるが同地は民國十四年該地居住の地主が開墾してゐたのであるが事變の爲め一時逃避し治安の恢復すると共に歸還し該土地の商租に關し代表中より常務理事を選出し東亞勸業公司と正式折衝すべく營田地主公會の設立を明圖し十六日奉天省公署に宛て其の認可を申請してきた

ハルビンの
滯納諸税二百
八十萬元

〔ハルビン十七日發國通〕ハルビン市民の市公署に對する滯納諸税金は概算二百八十萬元の巨額に達してゐるが、右につきハルビン特別市公署長呂榮寰氏は大要左の如く語つた

何とか近く目鼻が付くものと思ふ、グレート、ハルビンの名に背反せざる様市當局としては街燈を增加する方針である、現在ハルビン市民の滯納地代其他諸税金總額は約二百八十萬元に上つてゐるが當局はこれが徵收方法を

一、昨年度の滯納者は十一月一日より明年四月一日まで
二、一九三一、三二年度の滯納者は明年七月一日まで
三、最近三ケ年乃至はそれ以上の長期に亘る滯納者は一九三五年七月一日まで

等の三期に區分して滯納諸税を徵收しグレート、ハルビンの施設改善費にこれを充當する方針である、大ハルビン市の都市計畫は佐藤技師が鋭意劃策中であるが我がグレートハルビンは尠くとも百萬人の市民を包擁し得るものである云々

整理案に絡み
新東株百七十二圓に暴落

〔東京十七日發國通〕新東株は後場の寄附百九十一圓より漸次暴落し一時は百七十二圓に落込んだが、後持直し百八十圓臺にやつと落着いた、暴落の原因は東株整理案に絡んで低迷狀態を惹起したもので豫算問題とは全然關係なく一時的の現象であつた、日銀でも年末金融界も平穩な見透しが付いた際此の暴落が金融界に惡影響を及ぼす事は全くないと觀測して居る

滿鐵の
アルミ成功

〔大連十七日發國通〕滿鐵の中央試驗所に於けるアルミニユームの研究は愈よ具體化されることゝなり、近く試驗工場を設けて生産過程にあるアルミニユウムの研究に着手することに決定した研究期間は一ケ年として近日中に乾式研究機關設置に取り掛ることゝ

業態調査
關東廳から〔上〕

調査の趣旨

今回行はるゝ業態調査の目的は關東州及南滿洲鐵道附屬地に於ける日本人の個人經營に係る商工業の主なる營業に就て其の業態を審にし、諸般の産業政策上の礎石とすべき資料を得んがためであります

本調査は昭和二年に第一回の調査を施行したのでありますが始めての調査でありましたから、其の結果に就ては甚だ懸念があつたのでありますが、各位が進んで協力申告されましたが爲に、非常に良好なる結果を得まして之を完成し、今日では頗る貴重有益なる資料として各方面に利用されて居るのであります

爾るに其の後數年を經過し、殊に滿洲國の建國に伴ふ經濟界の狀勢は茲に一變して、最早前の調査を以ては到底推究することは出來ないので、今回其の第二回の調査を施行し、新しい正確なる資料を得て、之に照應すべき對策を立てる爲の資料を得ることになつたのであります。この調査が完全に行はれて、所期の成績を擧げるに於ては、茲に日本人の商工業の業態は、一目瞭然に之を知ることが出來るのであります

本調査は單に如上の目的の爲に調査せられるのでありまして、毫も之に依りて、課稅其の他の課稅の標準を求めんとするものでないことは、前回の調査に照しても明らかである許りでなく、其の申告の無記名の事實に依つて見ても之を了解さるゝのであります。

併し乍ら調査の生命は正確であることは本調査の生命でありますから、調査を受くる者はお互の繁榮方法を研究する重大なる資料である事を考へられて、前回同樣進んで正確なる資料を提供せられ、調査が完全に出來上る樣に特に御協力を切望致します

調査する營業の範圍

昭和九年一月一日より同年十二月三十一日に至る期間に於て、毎月末日現に一定の營業所を有する法人以外のものにして、日本人の經營に係る左記十八營業であります

物品販賣業　貿易業　製造業に貸金業　問屋、仲買業　貸家業　代理業　兩替業　土木建築請負業　運送業　運送取扱業　勞力供給請負業　寫眞業　洗濯業　宿屋下宿業　印刷業　料理店、飲食店、カフエー營業　仲介業　遊戯場營業

調査事項と其の時期

調査事項は關東廳業態調査規則第二條の別表の通じでありまして、各營業に依り小異があります。之等の事項は概ね昭和九年一月一日より同年十二月三十一日に至る一年間の事實に就て、毎月別に調査するのであります。尤も營業所の所有關係、投資現在額、家族及使用人等の諸事項は前記期間内の毎月末日現在で調査するのでありまして、營業開始年月及在滿年數等の如きは、夫れ夫れ過去に遡るのであります。此等の記入方に關しては後日申告書用紙と共に、詳細なる記入心得書を各位に配付致します

生命線を行く
日滿悲曲（舞上演・映）
國友雄吉（荒川芳三郎畫）

（十九）

第二の希望

家督相續に就いて、母に、野心のあることを、俊一は薄々知つてゐた。彼の家出の重なる原因は、それであつたのだ。

それほど彼は、一家の平和を熱望した。それが爲には、一身を犧牲にしても構はない覺悟があつた。また財産に對しても、大して執着を持つ彼ではなかつた。

從つて、今度歸つてからでも、母や妹たちが、どんな態度を採つてゐるか、そんなことには、一向無關心であつた。

彼が東京へ歸つてから、四日目となつた。

周作氏の病勢は、やゝ居据わりの形であつた。しかし、ちつとも、油斷は出來なかつた。

俊一は、歸宅以來一歩も外出せず、父の介抱に、ひたすら餘念なかつた。

然るに、愛に一つの不思議があつた。それは俊一が歸つてから、周作氏の病室が、俄に賑やかになつて來たことである。言ひ換へると、千瀨子夫人が今までと違ひ、殆んど付つきりで介抱し始めたことであつた。そして自分の居ない時は、必ず楠を付き添はせて置くやうにした。

言ふまでもなく、それは俊一に對する警戒であつた。俊一だけを周作氏の傍に置くことは、危險だと思つたからであつた。

夫人のその氣持が、周作氏には、能くわかつて居た。彼は、それをひどく淺ましいことに思つた。そして折角歸つた俊一と、ゆる〳〵語り合ふ機會の無いのを、非常に殘念に思つた。そんな時、不自由な病體が、ツク〴〵呪はしかつた。

その日の午後であつた。

俊一と久彌とは、連立つて家を出た。俊一に取つては、歸京以來、これが初めての外出であつた。

周作氏も、今日は著るしく氣分が快さゝうであつた。それで俊一も不斷外出する氣になつたのである。

しかし、無謀な家出をした六年前の自分を恥ぢて、先輩だの、友人の處へ顏出しをする氣にはなれなかつた。

「何處へ行きませう、兄さん?」

「さうだねえ、久し振りで、東京見物だ。上野から、淺草へ行つてみよう」

「それも、いゝですね」

久彌の胸に、なつかしい思ひ出が、浮んで來た。以前、日曜など には兄弟連れ立つて仲よく淺草へ活動見物などに出かけたことがあつた。その頃俊一は、早稻田を卒業したばかりだし、久彌はまだ中學生時代であつた。

二人は、上野公園で電車に乘つた。それから公園へのぼつて行つた。

好く晴れた日で、可なりの暖氣を感じた。油蟬が樹立で鳴いてゐるかと思ふと、茶店の庭では、もう萩の花が、ほころび初めてゐた。俊一はその、可憐な花の姿に言ひ知れぬなつかしさを覺えた。

「もう、萩が咲くんだねえ——」

「萩の花なんかが、やつぱり兄さんの心を惹くんですね。兄さんは俳句が好きでしたね。いまでも、やつて居ますか」

「なか〳〵俳句どころでないよ」

俊一は苦笑した。

「いつか、皆で、小金井へ郊外散歩に行つたことがありましたね。兄さん覺えて居ますか」

「さう〳〵。そんなことがあつたつけ」

「尾花が風になびいてゐて、紫紺色をした富士が遙かに姿を見せてゐたので、兄さんはひどく喜んで何とかいふ俳句を作つて、得意になつて居ましたつけ」

「さう〳〵、何もかも、今ではもう夢だ——あの時は、楠と、それから牧原の晴子さんも一緒だつたねえ。それで思ひ出したが、牧原さんのお宅では、皆さんお變りは無いかね」

「えゝ、お變りはありません」

牧原といふのは、政治家の牧原功一郞のことで、氏家家とは以前から親しい間柄であつた。

日日案内

三行　一回金九十錢
五行　一回金三十錢（？）
十行　一回金一圓五十錢
被履度　一回金八十錢
姓名在社　一回金十錢増
御申込みは電話三三〇〇番

少年を求む　保證人を要す　新京室町三井物産内赤津迄　電話三七六六番

下宿　問合せは滿日館　電話三八〇二番へ

貸家　御用の方は入船町廿三番地　鄰志へ

貸家（新築）
場所　朝日通郵事館警察署前
二階八疊二間六疊一間　階下店舗外三疊地下室
詳細東二條通廿二　横濱屋
電話四七七四稻葉

電話　借受又は買受け度　八島通四〇　石川洋行

金融　確實信用　日掛月掛　勤人歡迎
吉野町三丁目八（長春座前）
マキノ
電二七二五

金融一般
確實迅速貸出
朝日通朝日ビル前
天心洋行事務所
電話三四六〇番

貸室豫約受附
場所附屬地梅ケ枝町三丁目六新京ビルデング、スチーム、寢台其他洋家具、共同炊事場食堂、風呂附、二階五、六、八、十疊契約未滿五六室アリ
新京ビル假事務所
電四九〇六番

支部長
誰も出來る各地方とも大歡迎月收多大あり高尚簡易有望兼業退職者及外事に自信の方申込次第詳細急報す
東京市目黑十四
國民教育獎勵會

御履物
吉野町
とらや履物店
電二九八一番

賣買貸借
家の賣り申込並に金融直接御申込命迅速確希
新京朝日通十七
詳洋行
電四八二八・三一九五番
電話賣買

土地　家屋
住宅　電話
賣買並仲介親切に御紹介致します
紹介處　新京東一條通金光教前
萬成社
電話四八八四番

質
貸出勉強・保管確實・流質品安賣
祝町三丁目七〇四
博多屋
本店大連

アメリカつひに蘇聯を正式に承認
十七日ル、リ兩氏會見の結果 同時に共同聲明

（華盛頓十七日國通至急報）ルーズヴエルト大統領とリトブイノフ氏會見の結果アメリカはソビエート露西亞を正式承認した

（ワシントン十六日發國通）ルーズヴエルト大統領は本日リトヴイノフ氏との會見後ソ國承認は十七日中には話が運ぶ見込だと言明した（號外再錄）

交渉成立後 リトヴイノフ氏語る

（ワシントン十七日發國通至急報）米ソ復交に關し十七日ルーズヴエルト大統領と最後の交渉を遂げたリトヴイノフ氏は右會談後新聞記者團に對し左の如く語つた

今日中にルーズヴエルト大統領から米國のソヴイエート聯邦承認に關し聲明書が發表されるものと考へる、余は今夕ルーズヴエルト大統領と共にウオーム・スプリングに向ふ心算はないが現在尙多少の仕事がワシントンに殘つてゐるので直ちにワシントンを去らうとは思つてゐない

復交に關し共同聲明を發す

（ワシントン十七日發國通至急報）ルーズヴエルト大統領とリトヴイノフの兩氏は十七日左の如き共同聲明を發表した

吾々は本日米ソ兩國の國交回復に關する決定に調印した、この協定に加へ吾々は債務並に債權その他一切の未解決諸問題に關し迅速且滿足なる解決を期待し得べき處理方法に關して意見の交換を行つた、之等諸問題は吾々兩國政府が可及的速かに解決せんことを希望するものである

リトヴイノフ氏は尙協議を續ける爲更に數日間ワシントンに滯在するであらう

ル大統領聲明發表

（ワシントン十七日發國通至急報）ル大統領は米ソ復交恢復に關し記者團に左の如く聲明した

米國は愈よソ國と正常の關係を恢復することに同意した、斯くて兩國は大使を交換する段取りとなつたが米國はウイリアム、ブリツト氏を最初の駐ソヴイエート大使に任命するに決し直ちにソ政府に對しアグレマンを求める筈である、ソ政府承認の協定は十六日午後十一時五十分成立したものだ

初代駐露米大使はブリツト氏

（ワシントン十七日發國通至急報）十七日米國のソ政府承認に依り米露間に正式外交關係成立するや米政府は直ちにブリツト氏を初代駐露大使に任命するに決した旨發表した

十六年目で米露正式外交關係復活
ル、リ兩氏意見完全に一致

（ワシントン十七日發國通至急報）米露復交問題に關し、ルーズヴエルト大統領は去る七日以來リトヴイノフ氏をワシントンに招き交渉中の處愈よ十七日の會談で兩者間に完全に意見の一致を見、米政府は正式にソ政府を承認した、斯くて一九一七年ソ政府成立以來正に十六年目で米ソ間には再び正式の外交關係が樹立されるに至つた

滿洲事件費と資材整備費の復活を要求せん

（東京十七日發國通）陸軍では大藏省の査定案に對し十七日午後荒木陸相の閣議から歸るのを待つて省議を開き、陸軍側の態度に就いて協議する所あつたが、大藏省が明年度陸軍新規要求

一、滿洲事件費一億六千萬圓

一、策戰資材整備費一億八千萬圓

に對し殆んど半減に近き大削減を加へたるに對し陸軍では

一、滿洲事件費は日滿議定書に基く國策遂行費であるから陸軍としては出來得る限り最少限度の兵力を派遣しその經費の縮少を計つて居る狀態であるが最近に於けるソヴエート聯邦のソ滿國境に對する兵力の集中等より觀るも滿洲國に於ける兵力の整備を圖る事は緊要なる事であり、同事件費の削減には絕對に應ぜられぬ

二、策戰資料整備費は一九三六年の國際重大危機に對應する爲從來國家の經濟狀態等から繰延べられて居た策戰資材を整備せんとするものにして、同經費によつて明年度に於て大部分を明後年度に殘餘のものを完成するにあらざれば策戰計劃上に支障を生ずるのみならず軍隊の新兵器に關する練成等にも差支へるものである、一九三六年の危機を前にして之が經費の大削減は絕對に承服することが出來ぬ

とし大藏省の査定案に對し强硬反對を唱へて居るので滿洲事件費に對しては本年度豫算の場合に於ける如く豫備金を準備する等の方法に依り全額を又資材整備費に對しては更に其の大部分の復活を要求する意向である

大藏苦心の跡歷然
不滿はあつても結局納得せん 政府側樂觀態度

（東京十八日發國通）十七日の第一回豫算閣議は次回の定例閣議日たる二十二日迄に大體を取纏め第二回豫算閣議を

『開會』しやうとの申合せを以つて散會し各省では即日或は十九日査定案を基礎に復活要求の態度を定める運びとなつたが今後各省が態度を決定して大藏當局と折衝を開始しこれが廿二日の閣議迄に最後的落着を告げることは不可能と觀られるので其際は同日の定例閣議前後に於て藏相を中心に各省の政治的折衝は期待さるとも閣議席上に豫算問題が議題として上程されることは全然無く同日は平常通りの定例閣議に終始し更に二十三、卅一日に當つてゐる關係から事務的折衝が完了して愈よ最後の確定を見る可き第二回豫算閣議は結局廿四、五日になる模樣で而して政府側の觀測としては大藏省の査定案を觀るに全く並々ならぬ苦心の跡

『歷然』たるもので軍部側としても財政當局の國防費第一主義から其計畫は原則的には總べて承認され之が爲には內務農林兩省の如きは殆んど全滅に近い削減の犧牲を拂つてゐる程であるから我財政狀態等大極的見地からして尙專門的には多少の不滿はあるにしても結局納得し一方國防費の煽りを喰つて大削減の憂目に會つた內務農林兩當局にしても國際情勢上已むなきものとして承服し、最上級に見積つて復活要求は五十萬圓以下で喰止めて來年度豫算は結末を告げるものと極めて樂觀的態度を持して居る、尙復活要求を絡んで財政當局と各省間に紛糾を生ずるが如き

『場合』は何時でも首相自ら乘出し、政治的解決の手段を執るやう首相並に側近者は萬全の用意を整へては居るが、目下の處では別に斯る事態は豫想されずとして首相恒例の週末葉山靜養も平常通り行はれる筈である

印度の態度遺憾
外務省非公式態度表明

（東京十七日發國通）外務省當局は日印會商に關し十七日非公式に左の如き意向を表明した

十五日の印度案の內容を檢討するに曩に妥協なつた綿布四億碼輸入を否認するが如き態度を執り來つたことは甚だ遺憾で、これは果して印度に誠意ありやなきや疑はざるを得ない、讓歩に間隔あり印度が折れざる限り決裂の外ない

印度側修正案を外務省拒否

（東京十七日發國通）日印會商の我最後案を印度側が容認せず又もや些少の修正を爲せるのみで日本側の再考を求めたが外務省では受諾し得ずとして拒否し本日澤田代表宛訓電を發した

露領漁業組合 漁業約改訂準備委員會開催

（東京十七日發國通）露領漁業組合では二十八日漁業條約改訂準備委員會を開催し昭和十一年度で滿期となる現行日ソ漁業條約の改訂に備へるため、常任委員の提出にかかる原案に就き審議する方針である

長城稅關 舊稅關吏を採用せん

（天津十七日發國通）長城線各口稅關設置問題に就ては中央派遣の稅務司丁貴堂、張勇年等が鋭意調査中であるが、熱河への物資は多く灤河經由同地に輸入されるので灤河にも稅關を設けることになり、目下調査中である因に新設各地稅關には主として以前の安東、營口、ハルビンの舊稅關吏が任命される模樣である

藏相赤字公債限度固持
復活要求困難ならん

（東京十七日發國通）各省要求は完膚なき迄削減を受け各省の不滿は相當深刻で二十一日の豫算閣議では猛烈な復活要求があるものと豫想されて居るが、高橋藏相は本日の閣議の席上で

一、大藏省査定の範圍內で項目內の入れ換へをするのは自由である

一、但し之は次回閣議迄に事務的折衝により諒解を求め置くこと

と演說をなし極力復活要求の餘地を殘すことを避け赤字公債限度固持の意向を表明せる故眞の復活要求は困難で、次の豫算閣議では相當の波瀾を見るであらう

陸海軍豫算 八億五千五百萬圓

（東京十七日發國通）本年度陸軍豫算は四億四千八百萬圓、海軍は四億四百萬圓、合計八億五千二百萬圓で、これに對し明年度陸海軍豫算合計は八億五千五百萬圓で、三百萬圓の增加である、これが比率は本年度軍事費は歲出總額の三割六分五厘、來年度は四割二分三厘、今後の復活要求を加ふれば之が比率は增大する事となる

海軍省 全面的復活要求に決す

（東京十七日發國通）海軍省では十七日午後四時から豫算省議を開き協議の結果大藏査定案は海軍當局の希望とは甚だしき懸隔を生じてゐるので全面的に復活要求を爲すに決した

大藏省側の周到な單價調査
計畫は鵜呑み、金額に削減

（東京十八日發國通）明年度豫算編成は軍部の强硬な態度から非常な編成難を豫想されたが高橋藏相は五相會議の結果に徵し陸海軍の要求を結果に於ては全部鵜呑みとしその代り建艦費、兵器その他の軍事費について詳細に單價を調べ上げ此の方面より金額を削減する戰法に出た、即ち軍部の要求は單價計算上放漫な點あり大藏省はこれを左の方針で切り下げてゐる

一、軍部殊に海軍では昭和六年度豫算の單價を基準に物價の騰勢を考慮し大巾の引上げをなした

一、大藏省は二ケ月間余軍事費の昨年度及び民間會社の註文値段その他各種の材料についても詳細調査し合理的な單價計算をなした

一、以上の結果に照し今後の物價騰貴趨勢を考慮に入れて昭和六年度豫算に於ける單價に幾分の割增しをした

一、その結果は本年度豫算よりも却つて單價下落する物を生じて陸海軍の要求と多大の開きを見た

如上の如く大藏省が單價引下げに確信ある調査を基礎として居るので計畫は全部鵜呑みしてゐる以上査定案には不服ない筈と態度頗る强硬である

陸軍豫算に對する
大藏省の內示せる査定內容

（東京十七日發國通）十七日大藏省から內示された陸軍省所管明年度豫算査定案は要求總額五億七千萬圓に對し經常部一億六千七百萬圓、臨時部二億六千萬圓、總額四億二千七百萬圓を承認し一億四千三百萬圓の大削減を加へたが臨時部の要求額

一、滿洲事件費一億六千萬圓

一、策戰資材費一億八千萬圓

一、其他一般新規事業に對しては總額二億一千百萬圓

が承認されて居るがその內容三項の內譯は次の如くである

一、滿洲事件費一億二千萬圓

一、策戰資材整備費八千萬圓

一、補備教育費、制度改善費石油貯藏費、兵役審議會未決事項完成費一千百萬圓

軍事費の犧牲
內務、農林兩省が最大 猛復活運動起らん

（東京十七日發國通）昭和九年度豫算中軍事費の犧牲となつた各省豫算中最大なるは內務、農林兩省で內務豫算は一億六千五百萬圓で前年度に比し七百萬圓の減少、又農林豫算は八千三百萬圓で前年度に比し之亦三千八百萬圓の減少となつてゐるが兩省共時局に鑑み猛烈な復活要求を爲すものと觀られる

軍部側大不滿
政局に一段の緊張

（東京十七日發國通）今回の豫算編成は從來と異り各省に對する內示を前もつて行はず直ちに閣議に上程した結果復活要求に關し各省と大藏當局との事務的技術的の交渉と高橋藏相と各閣僚との間に行はれる政治的折衝殊に半減された軍事費新規要求に對しては軍部當局に非常なる不滿があり、折衝の結果によつては政局に一段の緊張を來すことも充分にあるから本格的決定に至るまで相當の時日を要すべく來る廿一日の定例閣議での決定は困難なりと觀られて居る

明年度一般會計
歲入歲出總豫算概要 廿億一千七百萬圓

（東京十七日發國通）大藏省發表十七日の豫算閣議に附議された昭和九年度一般會計歲入歲出總豫算概要左の如し（單位千圓）

△歲入

經常部	一,二四六,〇〇〇
臨時部	七七一,〇〇〇
合計	二,〇一七,〇〇〇

△歲出

經常部	一,二四六,〇〇〇
臨時部	七七一,〇〇〇
合計	二,〇一七,〇〇〇

滿洲事變生存者論功行賞
凱旋順序で四月頃發表

（東京十八日發國通）滿洲事變の生存者論功行賞は凱旋順序に依ることとし審議中だつたが此の程終了、發令は豫算關係上四月頃である、多門將軍の勳一等旭日桐花大綬章、功一級或は功二級金鵄勳章は動かぬ處で二師團に次いで獨立守備隊、久留米旅團の順序で審査にうつる筈である

原田大佐 陸軍省訪問

（東京十七日發國通）關東軍參謀原田大佐は小磯參謀長代理として午前九時東京驛着陸軍省に出頭し、滿洲國改組問題に關する經過と滿洲國の其重大案件の說明を報告、これによつて改組案の全貌が判明したので、陸軍中央部は研究の

松花江船舶聯合局本年運賃
四千萬布度に達す

（ハルビン十七日發國通）北滿の諸河川も愈よ結氷、殺人的寒氣は日增しに募り、北滿人はこれから來春の解氷期まではエスキモーの樣な生活に入る譯であるが松花江の船舶聯合局が結氷期までに輸送した諸貨物は四千萬布度の多量に達するが、その內容を示せば大要左の如くである、即ち松花江下流よりハルビンに輸送された諸貨物は二千八百十七萬二百二十九布度內千六百十三萬百十五布度は穀類石炭七百四十三萬五千六百五布度薪類百萬布度、各種木材九十二萬二千十四布度、石類九十二萬四千布度、大形に伐採された薪類四十一萬一千布度等であるが右の外松花江下流の各埠頭に輸送陸揚げされた鐵立岡の石炭は百三萬三千八百布度及びハラルダに陸揚げされた石炭は二十一萬二千六百布度であるが更に船舶の燃料として各埠頭に陸揚げされた薪炭は百十萬四百六十布度である、尙ほハルビン埠頭より松花江上下流に輸送された貨物は五百九十四萬五千三百五布度、內二百九十七萬千三百四十一布度は大豆等である、斯の如く本年度の航行期に於ける輸送貨物の總量は四千萬布度に達するとの專門家の證言である、右は松花江沿岸の通商貿易の殷盛さを如實に示すもので來年度は同江の貨物の去來の數量は異常の增加を示すものと觀られてゐる

排日團の脅迫行爲に
日高總領事嚴重抗議

（上海十七日發國通）華北問題に關聯して日貨排斥團は日貨取扱商店に對し脅迫行爲あるに至つたので日高總領事は本日警備司令谷正倫を訪問嚴重抗議した

背任ソ聯四職員に
多額の前渡金

（ハルビン十七日發國通）最近に滿洲國の警察權の發動となつて檢擧され嚴重な取調べを受けて居る背任行爲の北鐵ソ聯側職員カーリナ、クープラウロフ、アブロフの四名に對する俸給は取調べ終了まで一時差止める事になつて居たが、北鐵管理局長ルーディー氏は北鐵の經理會計課が悉くソ聯側の掌中にあるを好餌として右四名に對し多額の前渡金を支給し相も變らずソ聯側一流の專斷行爲が發露するに至つたので滿洲國側は右につき目下鋭意眞相調査中である

滿洲國の船舶
何處へ行つても國旗を變へぬ

（大連十七日發國通）滿洲國に置籍する各種船舶は從來滿洲國領海を出で中華民國領海內に入るや靑天白日旗を揭げ一見二重國籍船の觀を呈して居たが、當局は今回大英斷を以つて滿洲國船は凡ゆる壓迫をも覺悟して斷然滿洲國旗を揭揚することに決定全世界の海上に進出することとなつた

四平街

僞造紙幣 鮮銀で發見

滿洲各地に僞造貨幣發見に當地朝鮮銀行支店にても警戒中去る十五日僞造らしき鮮銀五十錢券を持ち込みたるものあり、鑑定の結果僞造と判明、右其旨當地憲兵隊に屆出で、右票は滿鐵宿舍金州寮より地方事務所に納めたるものにて何處より入りたるか不明憲兵隊では相當額の僞造券が當地に流入されて居るものでないかと目下其の出所調査中

防火宣傳終る

四平街防火宣傳は十六日午前九日より消防隊、四平街署共力の下に消防自動車四台にて市內行進宣傳ビラ散布各戶の防火點檢を行ひ、午後一時より消防隊車庫裏に於て八年度秋季消防檢閱が猪苛代四平街署長檢閱の下に實施せられ午後二時半終了したが、總人員三十三名の中事故欠八名出席二十六名であつた、尙終つて鯉沼消防監督の講評並に警察ゞ長の訓示あり一般に好成績で完了した

人事往來

▲孫其昌氏（黑龍江省長）十七日午後三時二十五分着哈市から

▲石田大佐（侍從武官）十八日午前七時着東京から

▲伊藤大佐（軍艦[illegible]艦長）十八日午前九時發內地へ

▲大藏公望男爵（貴族院議員）同上

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	一九片[illegible]
同 遠限	一八片十六分七
紐育銀塊	四四仙八十五
孟買銀塊	[illegible]
米英爲替	五〇、〇〇
米日爲替	三〇、二五
米支爲替	三四、三〇
スチール株	四二、〇分〇
アナゴンダ株	一五、[illegible]八分五

▲上海標金

現物	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	一〇〇、[illegible]
三月限	[illegible]
五月限	[illegible]
七月限	[illegible]
十月限	[illegible]

昨止	六九八〇
高値	六九九三〇
安値	六九五
本當	七一九〇〇
歩値	七一七三〇

▲上海倫敦向 賣値 一七三[illegible] 買値 一七三片一六 七

▲上海紐育向 賣値 [illegible] 買値 [illegible]

▲上海日本向 第一回 [illegible]

▲阪神日米爲替 第一回 [illegible]

御通知

本十八日ハ滿洲國各地市場ハ祭塡節ニ付キ全部休會デス

▲大阪株式

大株新	[illegible]	[illegible]
大鐘新	[illegible]	[illegible]
同紡新	[illegible]	[illegible]

▲同短期

大鐘新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	引

▲大連株式

五品當	[illegible]	[illegible]
豆先新	—	—
錢鈔	—	—

▲大阪三品

當限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪棉花

當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪期米

當限	[illegible]	末
中限	[illegible]	着
先限	[illegible]	[illegible]

▲仁川期米

當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲橫濱生糸

現物	[illegible]	[illegible]
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲神戶豆粕

十二月限	[illegible]	—
一月限	[illegible]	—

▲カルカッタ麻袋

靑筋	[illegible]
嚴筋	[illegible]
爲替	[illegible]

聖旨を傳達に
石田侍從武官來京
直ちに營庭で傳達式擧行

畏くも遣り御差遣の侍從武官石田大佐は本朝午前七時岡村參謀副長、田代憲兵司令官を始め、在京關東軍上長官並に各關係機關代表者の盛大な出迎へを受け着京、直に滿洲屋旅館に落着いた、午前十時より軍司令部營庭にて聖旨傳達並に御下賜品授與が行はれる

聖旨

天皇陛下ニ於カセラレテハ軍司令官以下一同カ引續キ幾多ノ困難危險ヲ冒シ常ニ寡少ノ兵カヲ以テ廣大ナル地域ノ警備ニ任シ或ハ匪賊ノ掃滅ニ從ヒ或ハ居留民鐵道ノ保護ニ任スル等其重任ヲ完ウシ克ク皇軍ノ威武ヲ發揚シアル段深ク苦勞ニ思フ各自一層自愛シテ其責務ニ努力スル樣申傳ヘヨトノ聖旨ニ在ラセラル

令旨

皇后陛下ニ於カセラレテハ軍司令官以下一同カ久シキニ亘リ氣候風土ノ異ナレル地域ニ於テ幾多ノ困苦ヲ忍ヒ危險ヲ冒シ克ク任務ヲ遂行シアル、ハ嘸分苦勞多キコトト思フ殊ニ死傷シタル將兵ニ對シテハ洵ニ氣ノ毒ニ堪ヘス今ヤ寒サ益々嚴シサヲ加フルノ折柄各自一層身體ヲ大切ニスル樣トノ令旨ニ在ラセラル

尚　天皇　皇后兩陛下ヨリ特別ノ思召ヲ以テ軍司令官ニ御目錄ノ品ヲ將校以下一同ニ御品ヲ傷病者ニハ御菓子ヲ下賜セラル

奉答（寫）

今般侍從武官ヲ差遣ハサレ優渥ナル　聖旨　令旨ヲ賜ハリ且臣隆ニ御目錄ヲ將校以下ニ御品ヲ又特ニ傷病者ニハ御菓子ヲ下賜セラレ洵ニ畏レ多キ極ニテ感激ノ至リニ堪ヘマセン將來彌々部下ヲ督勵シ盡忠奉公ノ誠ヲ効シ以テ　聖旨令旨ニ副ヒ奉ランコトヲ期シマス

非常時日本！
新京高女生が
けふ狹窄射撃演習
滿洲第一線の護りや固し

新京高等女學校第五學年生徒百十四名は十八日午後一時から教諭に引率され守備隊營庭で狹窄射撃を擧行し、非常時日本の第一線に立つ女性としての覺悟をいやが上にも固くし、武器に對する常識を深くするところあつた、これについて江部校長は次の如く語る

單に奇拔な氣を養ふと言ふ嫌があるかとも思ひ又さうした批評を享けはしないかとも考へたが決して奇拔と言ふより寧ろ常識として兵器に對する理解をもたせたい、殊に非常時に際して第一線に生活する者が女性とは雖も銃にサワツたこともないと言ふ風では心細いものであるからこの意味において今後は毎年五年生にだけこうした事をさせ來年あたりからは實包射撃をやつて見たい

と、當日指揮の任に當つた商業學校配屬將校山内少佐は女性の射撃を大歡迎して次の如く語る

日本の今日あるは一つに家庭教育にあづかるもの大にして將來家庭の母たる者が斯道に理解をもつことは將來子弟の教育上是非必要なことである、内地においては女學生は勿論女子青年團婦人會等までやつてゐることでこちらではいくらか立ち遲れの感があるが遲ればせにも思立つたことは感心だ

天津日界中原公司で
爆彈炸裂店内大混亂に陷る

〔天津十七日發國通至急報〕十七日午後七時天津日本租界目拔きの大通り旭街の支那人經營の大百貨店中原公司四階において轟然たる響きと共に爆彈炸裂し、營業中のこととて同店内は大混亂に陷つて居る

犯人と思しき者無く容疑者四名を拘引取調中だが幸に被害者無く只四階の三間四方ばかり硝子家具が目茶々々に破壞されて居り、被害は二、三百圓程度のものであるが、同店は主として日貨を扱つてゐることにらまれて居り人氣によるもので營業上の影響は甚大なるものと觀られて居る

損害僅少
人命に被害なし

〔天津十七日發國通至急報〕十七日夕刻天津日本租界旭街の大デパート中原公司の四階家具室及食糧品部西北側窓寄に爆彈を仕かけたるものあり午後七時轟然爆發顧客引きも切らぬ折柄とて悲鳴をあげて逃げまどひ大混亂を呈した、急報により天津憲兵隊員、總領事館警察官急、直ちに同デパートの各入口を閉鎖し犯人をしらみ潰しに搜[illegible]したが義

抗日か共產
系の仕業

〔天津十七日發國通至急報〕中原公司爆彈事件に關し總領事館警察では容疑者四名を拘引取調べたるも未だ眞犯人を見出すに至らない、爆彈は時限發火裝置附爆彈で前もつて仕かけて置いて犯人は逃走、爆彈は一定時刻を經て炸裂したものである、犯人は同デパート使用人の私怨としては爆彈を投ずる等とは考へられず抗日系或は共產系と見られるが何れにしても日支關係好轉を傳へられ天津の爆彈騷ぎも漸く鎭まつた際とて此一彈の投げた影響は甚大である

殘りの爆彈
又もや爆發

〔天津十八日發國通〕昨十七日午後七時、天津日本租界旭街の中原公司の爆彈炸裂し、事件の後午後十時過ぎ又もや同公司の四階で第二彈炸裂し市民を驚愕せしめた、右は前の爆彈事件の際發見した未發爆彈を危險なので水に浸して置いたものが突如爆發したもの

かつた　尚爆彈犯人に就いては犯人嚴探中なるも未だ逮捕するに至らず

蒙古の名家バフチヤツフ家に
重なる御目出度
正珠爾札布氏米山孃と結婚

蒙古の英雄巴布札布將軍の三男正珠爾札布氏（二八）と日本女性米山蓮江孃（二二）の日蒙親善結婚披露宴は十九日午後五時から寶宴樓で

〓盛大〓に取行はれる事になつた、二人は二年前東京で相識つてより加速度的な愛を育くみ遂に國際結婚行進曲を奏するに至り、今回形式的月下氷人として政務處長壽明阿氏夫妻が二人を永久に結ぶこととなつたものである、新郎は昭和三年日本陸軍士官學校砲兵科を卒業、現在興安總署督察官として署内に重きを爲してゐるが父の子として性來熱血男子、大亞細亞結成の理想を目指し其先驅者として活躍してゐる、新婦は岐阜市生れの才媛で、二十年間の懷しき故國と國籍をさらりと棄て愛する異國の貴公子との偕老同穴の旅を喜々として歩まんとする近代女性である、披露後二人は夫君の故郷祭哈爾へ新婚旅行に旅立ち先祖の廟に此の喜びを報告すると言ふ、巴布札布家では主氏の令兄甘珠爾札布氏の婚姻のつて以來

〓旬日〓を出でずして新しきも一人の花嫁を迎へ我世の春に惠まれた形である

スケートの妙技と
寶探しの催し
あすはいよ〳〵戶外デー
皆さん、西公園へ

明十九日は第三回全滿健康週間中最も意義ある戶外デー當日である、この日西公園スケートリンクでは午後一時からスケートの妙技が一般に公開される、出場者は朝鮮銀行支店田中金八

〓新京〓驛小荷物係福元弘の兩氏でいづれも在新京のスケート名手として知られた人今冬最初のことゝて人氣を博することであらう、スケートは約三十分の豫定でこれを終つて西公園誠忠碑前で寶探しの催しがある、一等白米一俵を始め賞品三百點を用意して大いに賑かにやらうといふので賞品の引替へはスケート場小屋で午後三時までとなつてゐるから、その時間までに參加して

〓幸運〓の籤を引當てるのもまた一興である、地方事務所社會係ではかうして戶内生活に慣れ易い一般の習慣をすてゝなるべく戶外生活を味はつて欲しいといふので當日は特に終日戶内にのみ送つてゐる醫鼓、仲居、女給などいつた人々にこの際ぜひ此の一日を開放された氣持で出かけて貰ひたいと極力奬勵してゐるが當日は、曜日でもなり今冬最初のスケート妙技を見物かた〴〵寶探しに參加するも相當多からうと

奉天省自治會
全滿的に
擴大氣運

過般奉天省參事官會議終了後參事官の親睦及參事官自身の覺醒の名に於て結成された奉天省内全參事官の組織する奉天省自治會は其後各方面に對し會の趣旨を說明し共鳴者を勸誘する一方、各省參事官に對し合流方を慫慂してゐるが、[illegible]も警戒を表明し本年中に新京に開かれる豫定の全滿參事官會議を機會に全滿的に統一されんとする氣運が釀成されてゐる、而して他方奉天省自治會は奉天省公署を通じ民政部に對し同會の正式承認方を出願してゐるが右に對し當局に於ては相互の親睦乃至啓發のみを目的とする純然たる社交的のものならば兎も角萬一政治的色彩乃至作用を伴ふものなるに於ては相當考慮を要するとなし愼重なる態度を持してゐる模樣である

新京四平街
間の
輕油動車、列車と
振替運轉

新京、四平街間における第三[illegible]車（新京午前十時四十分着）と第三百四十九列車（[illegible]二十分着）とは昨今輕油動車利用の旅客增加するのでこれが緩和策として二十一日から前記二列車を相互振替へて運轉することに決した、この結果午前十時四十分着が輕油動車となり午前九時二十分着は普通列車となる譯である

明年度
國有林伐採
本年度より三割五分の增加
土建界殷盛豫想さる

土木建築事業は建國以來逐年殷盛を極めつつあるが、これに伴ひ工事材料拂底のため價格暴騰し、就中木材は本年著しく拂底を告げ北滿材及び鴨綠江材は勿論北海道、樺太材をも使用し軍部工事用材の如きは全部新義州材を使用することとなり、北滿市場は大いに緩和されたが猶多大の不足を來し價格は事變前に比し約三倍の暴騰を見た、明年度の土木建築工事は更に增加しこれに要する木材も亦頗る多量である、明年度は本年度より多くの國有林伐採が土建界並びに各方面より切望されてゐる、右に就き滿日來關係當局では種々協議中であるが、實業部當局に於ける明年度伐採計畫は左の如きものと確聞する

△明年度伐採豫定
普通原木　鐵道沿線　四、〇〇〇車
（本年度は中央銀行をして一、〇〇〇車伐採を許可せり）
松花江流下の分　一、〇〇〇車
四合川方面より拉林流下祭家縣に揚陸　五〇〇車
滿鐵用枕木、百萬挺　三、〇〇〇車
同　特殊枕木　六萬挺　二〇〇車
同　電柱　一萬本　三〇〇車
同　根枷　六萬本　一〇〇車
同　橋梁用木材　五千石　一〇車
同　枕木　廿萬本　一〇〇車
同　マツチ軸木　四萬石　四〇〇車
合計　九、七〇〇車

以上の如くであるがこれを本年度三月より八月までの伐材車數四、六〇〇車より見ると約三割乃至三割五分の增加が許可される譯である、即ち本年度木材伐採實績は左の如し

△本年八月末調鐵道輸送吉林通過數　二、六一五車
△松花江下流數　六六〇車
△吉林貨車部卸數　七〇三車
計　四、〇四八車
△實業部調本年度原木新京到着數約　四、六〇〇車

榮中銀總裁は
內地各方面で大歡迎
近く拜謁の光榮に浴す
鷲尾理事歸京談

先月廿五日渡日した榮中央銀行總裁は目下東京に滯在中であるが、同總裁の案內役として同道した中銀鷲尾理事は十七日午後七時半着京のハトで一足先に歸京したが、同理事を車中に訪へば

わざわざ有難う、こつちの方が忙しいもので一足先に歸つて來ました、總裁は日本は始めてなので誰か案內役が無ければといふので私が一緒に出かけて行つたのですが、あちらでは方々からの歡迎を受け總裁も非常に喜んで居られました

王子製紙、印刷局、淺野セメント等も視察され、其他色々な方面を歩かれましたが悉く感じさせられた樣です

財界の知名の方々とも面會され色んな話もされた樣子ですが、今後多端な中央銀行の總裁が斯うした試をされたことはまことに意義ある事だと思つてゐます、總裁には近く拜謁の御沙汰があると承つて居ります、私自身の東上は總裁の案內役を努めただけで傳へられる樣な用件を帶びてゐる譯ではないが國幣の關東州內發行問題、鈔票廢止問題等も大藏當局に於て積極的に研究されてゐる樣です、又中銀に對する日本財界の理解も漸次深まつて居り、中銀のコルレス整備其他日本金融界との提携等についても非常な好意を示して呉れました、兎に角今後多端な中銀總裁が日本の新界を自ら觀察し色々目に入れて來られる事は意義ある事だと思ひます

清水鐵道部次長
來京

清水滿鐵鐵道部次長は十九日午後七時五十分着ハトで來京ヤマトホテルに一泊二十日午後四時三十分發列車で大連へ歸任の豫定

左翼辯護士
團再建運動
主腦部大阪名古屋で一齊檢擧

〔東京十七日發國通〕本年九月中旬頃赤色辯護士團の檢擧を見て以來左翼辯護士團の陣營は崩壞したかに見えたが、最近名古屋、大阪方面に於て左翼辯護士團の再建の潛行運動あるを探知した警視廳特高課では數日來內務省當局とこれが手配方を協議の結果去る[illegible]於てこれが主腦部を夫々逮捕嚴重取調中である

街の日記

あす二組の
結婚式

あす十九日は八白大安つちのとうしの吉日、この日新京神社では左の二組の結婚式が擧げられる

槇精一氏と
及川功子孃

槇留既々長槇吉治氏長男精一さんは稻葉善之助氏及び菊名仙吉氏夫妻の媒妁でこの程華壇驛事務長及川邦治氏長女功子さんと婚約整ひ十九日午後一時から新京神社で擧式

山元軍醫と
有川綾子孃

本籍鹿兒島縣、宮崎縣都城步兵第二十三聯隊附陸軍三等軍醫幸運氏次男山元國彥氏は滿電原口支店長、青木前鐵道事務所長の媒妁で本籍鹿兒島縣現鐵道事務所庶務係有川四郎氏長女綾子さんと婚約整ひ十九日午後二時から新京神社で擧式

鐵道事務所長
更迭披露

新京鐵道事務所長更迭披露は十七日午後六時半からヤマトホテルに在京各機關代表數十名を招待定刻より稍おくれて開宴、デザートコースに入り青木前所長芳賀新所長の挨拶があり、之に對し來賓を代表して大村關東軍交通監督部長謝辭を述べ寬いで歡談八時頃散會した

新京日本基督
教會集會

一、日曜學校午前九時より
二、朝拜午前十時十分より「ガラテヤ書の精神」　吉川牧師
三、夕拜午後七時
「未定」　石黑瑞男兄
「未定」　岡部又次兄

どなたでも御出席を歡迎いたします

日の出を拜する
つどひ

十九日（日曜日）朝六時三十分より西公園誠忠碑前にて
（新京日出時刻六時四十分）

市民早起會は午前六時三十分

落しもの

▲朝日通五十五番地平山重滿氏は十八日午前五時四十分ごろ自宅から驛前迄乘車せし馬車上にボール箱一個在中女物小濱縮緬紋付上下時價百圓を置き忘れた

▲曙町二丁目二十番地の二石橋つゑさんは十七日午前九時ごろ總領事館警察署前から室町小學校迄乘車した馬車上に風呂敷包一個在中富士絹運動服一着縞のバンド付白ノ靴下一足を置き忘れた

▲吉野町一丁目二十四番地森野商店々員が十七日午前十一時ごろ新京郵便局から歸宅中紙包一個在中安全カミソリを落した

盜難屆

▲高砂町四丁目發電所內筒井勇氏は十八日午前零時ごろ東二條通アジアカフエーで飲食中茶色オーバ一着時價二十圓ポケツト在中現金四圓を窃取された

▲入船町四丁目十九番地大原りのさん方へ十五日から十七日の間に何者か侵入し簞笥內にあつた男物大島絣一枚時價十五圓外三點を窃取された

▲中央通十三番地松屋旅館內森田實氏が十七日午後零時三十分ごろ電信電話會社新京電線工務室にかけておいた冬オーバ一着時價八十五圓を窃取された

▲露月町一丁目十九號岬田末一氏は十六日午後三時ごろ手提用寫眞機時價百三十圓置時計一角型時價廿圓牛花器一時價五圓を窃取された

▲露月町二丁目四十號町田三郎氏は十七日午後四時ごろ鐵道事務所工務係入口でオーバ一着時價七十三圓を窃取された

電信隊の
八十五名除隊

電信第〇〇隊除隊兵八十五名は十八日午後四時三十分新京驛發列車で凱旋の途に上つた

慶安異聞 艶魔地獄

（講談上演映畫化）

玉水三郎
（畫）長谷川小信

（九十五）

豪左の應援（五）

町奉行酒井因幡守は、青山と加賀爪の言ふ所に依つて、今度は正式に久米の平内方に手入れすることゝなつた。

同心大瀧道十郎に命じ、此一件の關係者としての捕物に就て、打合せをした。

それは直接十手を振込む目明しの數が偏々であるからで、此の打合せは非常に面倒であつた。

「何分道場の主で、今江戸で一二と言はれる久米の平内。門弟に爲る者の多い事は言ふ更もなり、大名旗本の子弟も多い。迂闊な事をする時は、目明しに怪我人のみ出して肝腎の罪人は召捕れず仕舞となるかも知れぬ」

「唯捕物失敗だけなら可いが、後に久米の平内が默つてゐまい。門弟と諸共に何處へ掛込んで來るかも知れぬ」

「門弟の縁故を辿つて、老中若年寄へ申出たら、町奉行の首が危ないから」

「何とかして平内方へ乘込まずに、小島三平父子の外出を待つて、町中で召捕るが上分別だ」

「それが可かん。三平が平内方の門を出る時がない」

「風呂は邸内にあるし、髪結は常に出入りが極まつてゐる。買物は下郎に頼んでゐるらしい。自分で外出は皆無といふ事だ」

「だが十松はまだ幼少、さう一日家の内に許りはゐたくなからう。時々連れて出る事はなからうか」

「門内の庭へが廣いから、庭で遊んで戸外へ出ぬさうだ」

「もう手段はないな」

「何うであらう。當大方にゐる大名の彼と談つて、父子を誘引き出すといふ策は……」

「イヤ之れは不策だ」

三人寄れば文殊の智慧が絞り出された。目明し中の腕利の太吉、林藏の二人が大賛成。

「誰か彼等に、顏を見知られてゐない者はないか」

「オ、藏前の兄貴、お前なら江戸は新顔だから大丈夫だ」

林藏が指ざしたは、近頃上州高崎の町奉行所から、仔細あつて江戸町奉行所へ差廻された腕利きの六藏。藏前に住んで藏前の六藏。

俗に藏六と言はれてゐる。

「可うがす。俺も江戸でまだ之といふ御奉公をしねえから、丁度名指されたが仕合せ。一番やつて見やせう」

茲に打合せは濟んだ。道十郎はにつことして、

「イヤ物は試合が第一だ。唯一人の考へでは、斯樣な智慧は出ぬもの、早速其の手管に取掛らう」

更に道十郎から、藏六に言ひ含める所があつて、其夜直に働[illegible]を出す事となつた。

一應は此の段を道十郎から、因幡守へ上申したが、因幡守は最初より、此捕物には氣が乘つてゐない。

「イヤ其の方の手にて然るべく計らへ。隨分過ちなきやう」

斯う言つて心中には、困つたものだ。青山主膳と加賀爪甚十郎とが、旗本としての横槍、拒むに拒めぬ事となつた。唯彼等の無謀は軈て青山家破滅の基であらう……と竊り歎息してゐた。

藏前の六藏は、道十郎の命に依つて、氣の利いた遊び人風體に[illegible]ひ、誰が目にも目明しとは思へぬ拵へ、直ぐ其の日夜に入るを待つて小石川白山下の久米の平内の道場へ來た。

劍術道場は晝の騒ぎに引き代へて、夜は森閑として人聲もなく、表門は閉め切つて、潜り門だけの片開が、重石を下げて、開け放てゐる。自由となつてゐる。

六藏は潜りを入つて、玄關の右手勝手口へ廻つた。

十二月十九日 日曜 舊十一月二日 己丑 大安 滿 房宿

●一白の人 人の落度が我身に掛かゝる日口入無用戊と丙と庚が吉
●二黑の人 大望を企て手に餘る事あり分限を堅く守れ戊と亥と寅が吉
●三碧の人 過ぎた日は及ばず憎も仇となる事あるべし庚と壬と癸が吉
●四綠の人 努力次第にて手腕を揮ひ得る日親密亦肝要丙・壬と癸が吉
●五黄の人 稼ぐに追付貧乏なし定業を勵めば利を増す乙と亥と寅が吉
●六白の人 任重くして油斷のならぬ日努力次第にて吉甲と庚と寅が吉
●七赤の人 近きを整へ遠きに及ぼすべき日自ら進展す卯と未と辛が吉
●八白の人 人を容るゝの量無ければ邪魔の入り込む日乙と戊と寅が吉
●九紫の人 守勢より攻勢に轉ずべき日追々と目的成る丙と壬と癸が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可
昭和八年十二月十九日 新京日日新聞 （日曜日） 第三千九百六號 （一）

新京日日新聞

米ソ復交をどう見る？
何れも對內政策の現れに過ぎぬ
◇…鄭國務總理語る

米ソ國交回復實現の報に接し鄭國務總理は語る

最近の米ソ關係から見て今回の米ソ國交回復と云ふことは至極當然の結果と認められる之に就き思ひつくことはソ聯の國內事情に就ては二つの

『觀測』が下される即ち一つは國內の諸狀態が改善されつゝあると云ふことで一つは國內事情が惡化しつゝあると云ふ二つの觀測である、しかしながらソ聯としては歐米各國は勿論、支那、日本に對して不侵略條約の締結をなし、又は提議したことがあり又五ケ年計畫を實行して產業建設に邁進して居る實情である、之等の點より見るとソ聯は國內諸情勢の整調と國力の充實に專念して居ると云ふことが看取される

『自分』は六年前東京を訪れたことがある、其際偶々ロシア訪問から歸られた故後藤伯と會談した際同伯のソ聯に對する觀察として國內の建設が順調に進捗し、國力充實し國內情勢は好轉しつゝあるを看取したことがある、之等と思ひ併せて以てソ聯は對內的政策上米國に接近し承認を求めたものと觀られるし、又米國側としても對內的政策の關係上今回のソ聯承認を決行するに至つたものであらう、だから

『兩國』の接近は對外的に何等の政策の現れではないと觀察される此際滿洲國としては右の事態に對して取立てゝ考慮する必要はないと思ふ、又內に顧みて日滿兩國の關係及び對外政策に變更さるべきものでない、只今後の米ソ兩國の動きを解觀し愼重に國際情勢に處する必要がある

承認は結局承認だけの事
謝外交總長の談

米國のソ聯承認に關し謝外交部總長は語る

今回の米國のソ聯承認は民主黨政府成立當初から豫期された事で右兩國の如き世界有數の大國が國交を開始してゐなかつたといふことがそも〱極めて

『變則』的な事態で今回の承認によつて國交が正常に復したといふことが立派な獨立國を感情や行きがゝりにとらはれて承認しない結果極めて不自然な狀態を生ずる事は當然で、今回の承認で列國が我滿洲國を承認せざるを得ないといふことは極めて明瞭である、此點我國民の意を强ふする處である

承認と同時に債務、購債、宣傳禁止等の問題も解決されたのか、又之等が今後の商議に任せられたのか、恐らく後者であらう、然りとすれば

『形式』的に承認は終へたものゝ未だ隨分論議の種が殘されて居るものと思ふ、ソ聯が今回の承認に力を得て對滿態度を硬化しはせぬかと云ふ氣もあるが對ソ關係に對米關係を利用するが如きは所謂『二階から目藥り』でソ聯政治家としても今更遠交近攻の謬見を基礎にして行動するが如き迂濶なことはあるまいと思ふ、況んや承認は結局承認だけの何ものでもない

軍政部の意向

米國のソ聯承認につき軍政部側の意向を聽けば

米國がソ聯を承認したとて別に軍政部としては問題でない、資本主義の米國が共產主義のロシアを承認したのも時勢の然らしむる所だ滿洲國は既定方針に基き日本と益々提携を固うして對應して行かねばならぬ、軍は最惡の場合に處するためには國防充實に最善の努力を拂つてゐる

米ソ復交の兩國交換公文
記者團に發表さる

〔ワシントン十七日發國通〕ルーズヴエルト大統領とリトヴイノフ氏との間に愈よ國交回復に關する

『完全』な基礎的諒解成立し米ソ兩國の國交は十六日午後十一時五十分を以て完全に復活するに至つた、而してル大統領、リトヴイノフ兩氏は米、ソ兩國々交回復に關する協定に調印を了した、兩國間の諸懸案に就ては兩氏の間に交涉の進展に伴れて交換した之等諸懸案に關する書翰が諒解の基礎となつてゐる、ル大統領は十七日午後米、ソ國交回復を記者團に發表し且つ兩氏の間に取り交はされた交換

『文書』をも發表したが交換文書中の主なる題目は左の如くである

一、共產主義宣傳禁止問題、信敎自由の問題

一、相互に自國民が相手國で經濟的間諜の名目の下に起訴される事を保護する問題

一、債權問題

初代駐露大使
ブリツト氏は有數のソ聯通

〔ワシントン十七日發國通〕初代駐露米大使に任命されたウイリアム、ブリツト氏は一八九一年生れで、現在四十二歲の

『働き』盛りである氏は一九一五年一七年の大戰中フイラデルヒヤに在るパブリツクレヂヤー紙の外國特派員として活躍し、後同紙のアソシエートエデイターとなつた、一九一七年—一八年國務次官補となり一九一八—一九年パリの平和會議に際してはアメリカ代表と共にパリに在つて活躍し一九一九年ソ聯邦に特別使節として赴任、ソ聯邦を研究し一九二一年パラマウント映畫會社編輯部長となる、現在は

『國務』次官補で去る七日米ソ交涉の始るやル大統領を援けて交涉に當つた、ブリツト氏は之迄外交官生活の經驗は無いがアメリカ有數のソ聯邦通として知られてゐる、又一九二六年には小說（イヅ、ナフト、ダーン）を著して文筆家としても令名有り

在哈ソ聯人歡喜

〔ハルビン十八日發國通〕アメリカがソ聯建國以來十六年目に遂にソ聯を正式に承認し兩國の國交回復せりとの報道傳はるや北滿に於けるソ聯赤系露人は之で世界の大小國は殆ど全部ソ聯と保關友好を結んだと喜色を滿面に浮べて得意の絕頂にありソ聯總領事館では要人連が集り祝杯を舉げる處あつた、尙近く米ソ總領事館員の交驩がある答でソ聯側の鼻息頗る荒い

滿鐵辭令

新京地方事務所外勤助手 雇員 萬崎富太郎
同 丸山義一郎
新京地方事務所事務助手 雇員 吉村治雄
同 川上武治
同 岩元次吉
事務員を命ず（各通）

新京地方事務所外勤助手 雇員 高田寛一
事務員を命ず新京地方事務所外勤員を命ず
新京地方事務所技術助手 雇員 湯山吉太郎
技術員を命ず
新京地方事務所事務助手 甲傭 河崎桃之助
同 瀧澤 [illegible]郎
新京地方事務所外勤助手 甲傭 宮田伊作
雇員を命ず
新京地方事務所消防長 甲傭 勝俣幸逸
新京圖書館事務助手 甲傭 福眞太郎
雇員を命ず（各通）
新京醫院看護婦長心得 雇員 植野靜
新京醫院看護婦長を命ず
新京醫院看護婦 甲傭 山崎マサ子
雇員を命ず

高岡前安東縣參事
公金橫領の事實無し
監察院の態度決定

安東縣公署在任中公金橫領の嫌疑を蒙り、監察院の眞相調査を受けた現海城縣高岡重利參事官を繞つて種々世上に喧されてゐる折柄、監察院は安東に出張、奉天省公署員と協力調査を行つた中村監察官の取調べ報告に基き去る十三日監察院に會議を開催、左の如く監察院の態度を決定し十七日意見書を各關係官廳に送附した

一、現海城縣參事官高岡重利が安東縣公署に在職中に於ける公金橫領の事實なしと認む、但し同人が當時前任地に於て縣の涉外事項に沒頭した結果內政殊に會計に對する指導監督の不行屆きの爲め積年の餘弊たる縣會計の紊亂殊に王介公縣長の公私混同を改むるを得ず遂にこの種の事態を惹起せるものなりと認む

二、即ち同人の安東より現任地への轉動の際安東縣の同意を得て參事官公館所屬の家具並に什器を古物商に賣却しその代價を縣會計に納入したが中數點を同人が海城に轉勤と共に携行したその動機は斷任安東縣長に對する反感等より私情を交へたる嫌のあると同時に他に誤解等の適正なる方法あるにかかはらず公人としての立場上、物議を釀すが如き措置を講じたるは甚だ遺憾である

お土產澤山に
上京中の吉田大將
きのふばいかる丸で歸滿

〔大連十八日發國通〕日滿マグネシユーム會社創立其他の要務を帶び去る八月上京した特務部顧問吉田豐彥大將は十八日「ばいかる丸」で歸滿したが往訪の記者に對し語る

マグネシユーム會社の創立、石油炭礦所會社の創立認可關係につき中央と打合せて來た、兩會社とも重役の顏觸れ等決定してゐるのであるが滿洲國側の許可が未だ下らないので實現の運びに至らない、然し近日中に下る模樣なので出たら直ちに創立總會を開くことにならう、日本製鐵合同は中島商相が十二月中に纏めたいと努力してゐるが自分も此の爲來月七日迄には東京に行かねばならない、今日は八田滿鐵副總裁に會つて滿洲化學の工場を見て午後新京にたつ心算だ

新渡戶博士葬儀

〔東京十八日發國通〕故新渡戶博士の葬儀は十八日午後零時半より靑山齋場に於て執行され、朝野の名士多數參列し盛儀を極めた

滿鐵社員會定例の幹部會
きのふ大連で開く

〔大連十八日發國通〕滿鐵社員會第五回定例幹部會は十八日午前十時から本社社員クラブに於て開かれ本部役員並に沿線各聯合會長及び代理者約十餘名出席先づ伊藤幹事長より改組問題に對する社員會の執つた態度並に經過を報告、更に個々の意見を開陳した後正午休會し、午後は引續き提出議題の討議に移つた

鮮銀支店人事異動
支配人代理以下更迭

朝鮮銀行新京支店では十三日左の如き人事異動があつた

支配人代理 田丸常一郎
龍井村支店支配人代理、圖們派出所主任へ 貸付主任 吉浦正雄
撫順支店貸付主任へ 計算鑑査主任 遠藤直
遼陽支店計算鑑査主任へ
なほ右後任としては
群山支店支配人 馬場秀藏
新京支店支配人代理へ
撫順支店 富松恒藏
新京支店貸付主任へ
遼陽支店 泉保藏
新京支店計算鑑査主任へ
大連支店 細谷弘
新京支店計算鑑査役へ

興安公署に日本人參事官採用

滿洲國第五十三次國務院會議に興安總署から左の議案を提出する

一、興安分省公署官制修正の件（日本人の參事官を任用すること）

興安各分省地方科長會議

興安省各分省公署地方科長會議は來る二十日より三日間に亘り總署會議室で開催されるが其審議內容は地方行政地方財政及地方自治の問題を中心とするものである、地方科長會議は今回が最初のことゝて頗る期待を持たれてゐる

產金價格

產金買上法に基く產金買上價格は左記の如く決定した

產金買上價格一瓦（一瓦）に付き國幣一圓九十五錢

滿鐵採用募集 技術系統締切

〔大連十八日發國通〕滿鐵東京支社に於て募集中であつた來年度採用の專門學校卒業者の中技術系統は十日締切つたが採用人員二百十名に對し應募者五百二十名に達し昨年より百餘名の增加を示してゐる、二十日より東京支社に於て考査を行ひ來年一月迄に採用者を決定する筈である

鮮人組織の積善社
學校幼稚園に寄附

寬地鮮人の組織する積善社では積立金が五百餘圓に達したので、數日前民會事務所內で同社評議委員會を開催協議の結果、寬城子鮮人私立小學校に金百五十圓を寄附することゝなり、更に同地幼稚園にも幾分かの經費補助をなすことに決定した

武市璋緒氏間島へ

前新京警察署高等保警部補武市璋緒氏は今回吉林省延吉縣公署警察指導官に招聘され十九日午前六時半發列車で赴任する

天氣と氣溫

けふ天氣 南西の風晴、一時曇
きのふの氣溫 最高 四度二 最低 零下九度五

畏し、聖旨を傳達
石田侍徒武官から菱刈關東軍司令官へ（きのふ關東軍司令部營庭にて）

米艦十餘隻浦鹽に入港す
時節柄注目される

〔大連十八日發國通〕情報に依れば米海軍の巡洋艦、驅逐艦等十餘隻の軍艦がウラヂオストツクに廻航し時節柄注意を喚起してゐるが、右は恐らく米露復交祝賀の爲ならんと

治安維持の完全は
主權を立證
外人記者が視察感想を語る

ジヤパンタイムス滿洲特派員スチユワート、リリコ氏は奧地の視察を終へて滯京中であるが視察中の所感として左の如く語つた

現在滿洲國の治安は完全に維持されて居るが、建國後二年を出でずして斯る狀態にある事は驚異的な事でこれによつて觀ても主權が嚴然として存して居る事が判る、列國が條約上の空論にとらはれてこの事實に目を覆ふて居る事は全く意味のない事である

同氏は廿三日新京を出發、奉天、錦州、承德、古北口の各地視察後北平、上海と巡遊し再度來奉の上シベリア經由にて歐洲からアメリカに歸る豫定であるが、歸國後は滿洲事情紹介のために大いに努めると言つてゐる

暫行商租權登記法施行細則（中）

第六條 商租登記申請書は一通每に代金五分を徵收す

第七條 登記官署は商租登記に關し左記の帳簿を備へ置くべし

商租登記簿、商租登記共同人名簿、商租登記受付簿、商租登記索引簿、商租登記申請書類記錄簿、商租登記申請書類收書控簿、商租登記書及證據給與簿、商租登記證明書控簿、商租登記簿寫給與簿、商租登記閱覽簿、商租登記通知簿、商租登記公示簿、商租登記異議記錄簿、商租登記事件簿、商租登記囑託記錄簿、商租登記印鑑簿、商租登記返還領收書記錄簿、商租登記料收入簿、商租登記料領收書控簿、商租登記料日記簿、商租登記申請書代金預金簿、商租登記抄錄閱覽料日記簿、不動產執行調查簿、見積價額簿、調查調書記錄簿、保證書記錄簿、印鑑證明書記錄簿

第八條 各種帳簿の樣式は司法部別に定めて作製頒布す

第九條 商租登記に關する帳簿及書面は永久に之を保存す

第十條 不動產登記法令中不動產ト記簿に關する規定は商租ト記の性質に牴觸せず且つ特別の規定なき場合に限り商租登記簿に準用す

第十一條 商租登記簿中一筆の土地に備ふべき用紙は各八頁を以て限りとす

第十二條 ト商租登記簿は一筆の紙每にト記番號欄商租目的物表示部原權利表示部商租權部及商租に關する他權利部に分つ

第十三條 商租ト記簿中の商租目的物表示部には左記の事項を記載す

一、商租土地の所在境界種類及畝

二、原不動產ト記簿の何冊何頁何欄より轉載又は不動產ト記簿の何冊何頁何欄に轉載

原權利表示部には左記の事項を記載す

一、原權利種類

二、原權利者の姓名住所

三、原權利ト記の目的年月日及番號但し暫行商租權ト記法第九條に記定する事情ある場合に於て原權利のト記なきか又はト記の有無不明なるときは其の旨を明記すべし

四、原不動產ト記簿の何冊何頁何欄より轉載又は不動產ト記簿の何冊何頁何欄に轉載

五、商租權設定後の原權利に關する事項

商租權部には商租權の設定移轉其の他商租權に關するト記に就き左記の事項を記載す

一、記受付の年月日及番號

二、ト記權利者及義務者の姓名及住所

三、ト記の原因及其の年月日

四、商租期間

五、無條件更新の約定の有無

六、商租價及其の支拂方法

七、特約あるときは其の特約

八、ト記の目的

九、ト記の順位番號

十、ト記年月日

新京に移入される魚貝類の調べ
その系統はどんなもの？
内地物は漸次進出

最近新京へ移入消費される鮮鹽干魚虫介類の輸入系統および其の數量を調べて見ると次の通りである新京驛到着鮮鹽干魚虫介數量は（單位キログラム）

昭和四年度　三三九三
昭和五年度　一五六七
昭和六年度　一三八二
昭和七年度　三〇九四
昭和八年度上半期分　二〇四六

その内譯は大体次の通りである

△鮮魚虫介（三十二％）内地物一・六％、朝鮮物四％、滿洲物五十七・九％

△鹽干魚虫介（六十八％）内地物五十％、朝鮮物一％、滿洲物八％、支那本部物三十五・八％、沿海州物〇・八％、外國物四・四％

（註鹽干魚虫介の產地率は昭和七年度以降の資料得難いため昭和五年六年度分による）

新京市場入荷鮮魚虫介數量の金額は次の通り

昭和六年度分
內地物二一五六六、一四圓
朝鮮物六三〇一七、八〇圓
滿洲物八九七八五、七四圓

昭和七年度分
內地物一二五四四、九九圓
朝鮮物二〇七四五、九二圓
滿洲物一九五三八五〇〇圓

昭和八年度上半期分
內地物九一八二三（五圓朝鮮物一三五三一一三）圓滿洲物一四〇五二七一〇圓
內地物一三三五〇〇圓、朝鮮物二二五〇圓、外國物一二六〇圓、支那本部物四五五〇〇圓、昭和七年においては內鮮物共に二又は三割方增加輸入と推定される、海草類輸入金額は內地物十萬圓あるのみで他地產は殆どなく最近僅に北鮮物が進出して來た位のものである

海產物罐詰及び海草類については最近の資料がないが昭和三年度について新京商工會議所で調査した資料を掲げて見ると

日本內地物の進出は疑ない
外國品と競爭狀況

次に外國品と日本內地品との競爭情況を見ると

一、鮮魚、虫介類內地物は輸送期間及び運賃の關係上特殊なものに限られ、昭和七年度新京驛市入荷總額四一五七七六圓に對して僅に二五四五圓に過ず朝鮮物入荷は各期において多く滿洲物とは魚種を異にするが昭和七年度においては二〇七五四五、九二圓で滿洲物を凌駕すること悠に二一一六〇圓にして昭和五年、六年度における朝鮮物對滿洲物の地位を全く轉倒した感あり將來京圖線運賃の統制された曉には內地朝鮮物の新京進出については相當注目に値するものある様思考される

二、鹽干魚、虫介類邦人向きのものは全部內地物のみで鹽鰤、少量の北滿物あり、滿人向きには南、北、西支那方面から九〇二〇〇圓（昭和六年度商工會議所調査以下同じ）沿海州二〇〇〇圓北米一一〇〇〇圓滿洲二〇〇〇圓朝鮮から二五〇〇圓內地物一三一三八〇圓（長崎、上海經由物を含む）である、これを

『品種』別について見ると

內地物鹽鱒、鹽鰛、海參、干貝、干海老、鱶ヒレ、干鮑鰯、干魚肚、なご
朝鮮物鹽鰛、干海老
支那本部物干貝柱、海參、鰯
外國物國物鹽鯡
沿海州物海產
滿洲物鹽黃花魚、鹽鰭、干海老

の如くなる、昭和七年度以來圓安の關係と同一品種については本邦品優秀なため支那本部物を斷然壓倒してゐる狀態である、罐詰類は銀安の關係で粗惡品ではあるが漸次輸入量を增加しつゝあつた支那本部品は昨年來から輸入が減少してゐる外國品亦然りである、海草類は依然本邦品が獨占的地位を辿つてゐる、これ等鮮鹽干魚虫介類の取引は內地各地釜山、上海、芝罘、加奈陀安東、營口、關東州などである

消費狀況

一、鮮魚虫介新京入荷全部市內で消費されその八十％は邦人向きのもので殘り二十％滿人向きである

一、鹽干魚虫介新京入荷數の內邦人消費量は僅に六％に過ずして殆ど全部即ち九十四％は滿人向きである、而してこれ等滿人向きの鹽干物の四十％は吉長沿線に二十％は背後地に殘り四十％は新京城內で二十五％附屬地で十五％消費されることになる

一、罐詰は新京入荷數の三十％は邦人が消費し七十％は滿人向きで城內及び附屬地で大半消費されてゐる、海草類は大体鹽干魚虫介に準ずる

以上記述したところから見ると殊に注目に價ひすることは京圖線運賃統制とゝもに日本內地物の滿洲進出は疑ひのないことで外國品支那本部物の追隨を許さぬことゝ鮮魚は殆ど邦人の口に入り鹽物は滿人の口に入るものと見て大体間違ひないことである

天晴れ男性を凌ぐ

非常時の第一線に勇躍する新京高女生がきのふ守庭であつぱれな狹窄射擊演習　─夕刊記事參照─

銃を手に女性兵士
男子に負けぬ勇躍振り
きのふ守備隊營庭で女學生の射擊演習

夕刊既報、十一月十八日午後一時突如として出動命令が新京高等女學校に下るや堺出部隊四十九名（五學年）は堺出小隊長の指揮で目的地守備隊營庭射擊場に早くも到着したここでは山內少佐の指揮說明あつて直ちに狹窄射擊に移つたが、これこそ彼女等にとつては生れて始めてであり又一生に一回かも判らぬ銃を手にして勇ましくも武の精神を銃と標的とに打ち込んで眞に非常時日本の女性としての眞剣さころあつた、最初の一發には耳に手をした彼女等も回を重ねるとゝもに銃聲にも慣れ態度と言ひ姿勢と言ひ男性にも負けをとらぬ凜落ちついたものだ、斯ふして奮戰數時間にして午後四時終つた

特殊婦人も大喜びで參加
いよ〳〵けふ午後一時から
西公園の戶外デー

今日十九日は戶外デーこの日西公園スケートリンクでは午後一時からスケートの妙技が一般に公開され終つては西公園誠忠碑前で寶探しが行はれる、意義あるこの日新京署保安係では藝酌婦並にカフエー女給、雇婦女の戶外進出をすゝめた結果、各組合とゝもに贊同し當日は舉つて出かけることゝなつた、午後一時から二千余の特種婦人が色とり〴〵參加するので非常な盛況を豫想されてゐる、この日のお天氣を新京觀測所に尋ねると雪も降らず風もなく戶外進出に絕好の天候であるといつてゐる

居住消息

▲三好正美氏（山口縣人木材業）吉林から住吉町二丁目六番地へ
▲星子末雄氏（熊本縣人辯理士辯護士）中央通り五番地五味方へ
▲樋口才藏氏（鹿兒島縣人）吉野町三丁目記念館內へ
▲心磯菊雄氏（鹿兒島縣人）同上
▲馱原喜與一氏（佐賀縣人滿國官吏）梅ヶ枝町三丁目二十六番地へ
▲塚本運郞氏（福岡縣人官吏）蓬萊町一丁目十二番地へ
▲森勝義氏（東京人滿國官吏）梅ヶ枝町四丁目十六番地岩崎方へ

轉居

▲逆瀨川重則氏露月町二丁目四十號ノ九から花園町三丁目一番地第三十一號へ
▲種子田武二氏千鳥町一丁目三番地から花園町二丁目二十三號ノ一へ
▲安武哲夫氏吉野町一丁目九番地から白菊町三丁目滿鐵社宅十一號へ
▲黑川多一郞氏新京驛貨物事務所內から西二條通り敷島寮へ
▲小島常雄氏三笠町一丁目十六號から花園町三丁目四十四號へ
▲宮澤章氏和泉町二丁目三十一號から花園町二丁目十二號へ
▲棚橋定吉氏露月町二丁目四十號から花園町二丁目十二號へ
▲平井二三男氏露月町二丁目四十八號から花園町二丁目十六號へ
▲佐々木誠之助氏和泉町二丁目三十五號から花園町三丁目四十四號へ
▲淺野龍夫氏中央通り益智寮から大連へ
▲島野宗次郞氏吉野町一丁目十一號から花園町二丁目五番地二十六號へ
▲藤原一雄氏大和通り四十番地から花園町四丁目六十六號へ
▲福本廣政氏羽衣町一丁目百九十一番地から花園町二丁目十號へ
▲永利廣祀氏日出町三丁目から東三條通り五十二番地へ

新京の物價は─
「やつぱり高い」
［ハルビン市內を視察して］
井上保安主任の談

新京署井上保安主任は去る十二日から三日間の日程で北滿の大都市ハルビンの旅舘、雜貨その他保安情勢に就き視察をなし歸署後左の如く語つた新京の物價は高い〳〵と全市民が口をそろへていつてゐるため自分は去る十二日から三日間の日程でハルビン市內保安行政を主として觀察したが旅舘その他商店の物價は嚴密な統計的調査をしたのではないが大体的に新京が高い、巨體の點から見ても內地、南滿から移入する物資がハルビンは新京よりも高いのが本當の樣だが實際は安い、現在の新京では全市民が異口同音に高い高いといつてゐながら非常な實行力を見せてゐるが新京商人は値上を叫ぶよりかまづ以て充分自重せねばならないことを痛感したが、氏は値段の如きも市中の半額以下で奉仕したいといふ決心で開業まだ數日に過ぎないに拘らず早くも各方面から注文殺倒して大汗で活躍中である、當の高橋氏は何分商賣としては初めてであり例へば一つの圖案にしても人それ〴〵好みがあるところ自分はお客さんのお氣に入るまで幾らでも書いて差上げ、そうして始めて氣に入つたものがあればそれを取つて頂くといふ風にしたいと思つてゐる、商賣ではいひながら傍ら自分の勉强になるんですからと語つてゐる

滿洲國の特產に就て
實業部總務司長　（二）高橋康順

最近數年間反當收量の平均を日本內地に比較して見ますれば內地八斗二升七合、滿洲九斗五升一合で約一斗三升の增收を見て居ります、市場出廻率は收穫高の八十或は八十二％即八割見當の搬出餘力が有る譯で試みに昭和五年度の滿洲大豆の生產消費、剩餘の關係を見ますれば次の如くであります

	生產高	消費高	剩餘	出廻率	消費率
	萬屯	萬屯	萬屯		
南滿	二二七	三六	一六〇	八三・五％	一六・七％
北滿	一三三	三九	一三三	八一・三％	一八・七％
合計	三四〇	七五	四三三	八二・三％	一七・九％

以上の如き大量の大豆は南滿に於ては主に遼河及び松花江流域地方から、又北滿に於ては齊々哈爾及び哈爾賓を中心とする松花江流域地方より產出されます

作付面積步合を申せば大同二年（昭和八年）南滿全既耕地の二十八％北滿全既耕地の三十二％全既耕地三十二％尙詳細に申せば

南滿

地方	面積
奉天以南地方	三八萬陌
奉山線地方	八同
開原地方	三三萬陌
瀋海線地方	二一同
長公地方	四三同
四洮地方	二二同
吉長線地方	二七同
間島地方	九同
計	一七九同

北滿

地方	面積
北鐵南部地方	三八萬陌
ハルビン地方	一同
北鐵東部地方	四一同
松花江下流地方	三三同
呼海線地方	三七同
北鐵西部地方	二五同
齊克線地方	三八同
北部其他地方	七同
計	二一九萬陌
合計	三九九萬陌

斯くの如く莫大なる耕地面積が使用せられて居るのであつて大豆は滿洲農產業の大部分を占めて居ると申すことが出來ます

斯く廣大な面積を費し世界の大豆產額の三分の二を生產し併も生產高の八割强を商品として輸移出する能力を有する我が滿洲大豆は如何なる方面に使用せられるかと申しますれば、日本內地に於ては各種食料の製造原料即菓子類ビスケツト、パン、納豆、モヤシウドン、豆腐、豆乳、豆腐、味噌、醬油、ソースの原料、コーヒー代用となり、其他大豆粕及び豆油の製造原料となります

新彩社を經營
高橋忠氏が

新京事務所社會係員として敏腕をふるひ、殊にスポーツマンとして有名である高橋忠氏は今度、新京露月町三丁目七五ノ二に「新彩社」を獨立開業することゝなつた、ポスター、ウインドウ裝飾、商用圖案、廣告文案、看板、ペンキ塗裝その他を引受けて大いに首都商店界のために貢獻しやうといふので、何事につけても熱心で器用な氏のことであるから成功は間違ひなからう

△△△△△やすい內地酒
實は滿洲酒と判明
賣つた男にお灸

市內東二條通九番地食料雜貨卸小賣商河野俊延は同家小賣定價表に內地酒上等一圓七十錢、中等一圓三十錢、下等九十錢の定價表を作り滿和多賣と稱し紙間廣告並に宣傳ビラを市內に配付しておきながら滿洲酒を販賣してゐるを新京署員に發見され取調べの結果十八日同署司法係で科料十五圓に處せられた

後宮大佐歸連
（大連十八日發國通）新設線

建設其他の重要任務を帶びて本月上旬上京した滿鐵囑託後宮大佐は十八日「はいかる丸」で歸連した

民團懇談會
經過を報告

第十二回全滿民團代表懇談會新京代表者は十八日午後二時から新京地方事務所で區長、地方委員、商工會議所常任理事に經過報告をなした

旅客車と輕油動車
時間の振替へ
四平街發新京着

滿鐵では十一月二十一日より四平街午前六時十分發九時二十分新京着の旅客三十五列車と午前七時發十時四十分着の三四九輕油動車を相互振替へ運轉することになつたが右は昨今輕油動車を利用する旅客が激增した爲である、從つて三四九列車には二、三等客車を連結し手小荷物を取扱ふことになつた

龍井村籠球チーム來征

間島協和會地方事務局管內及び龍井村を中心とする敎育關係者及び一般青年を以て組織してゐる晨光籠球隊は新京體育協會支部を通じオール新京との試合を申込んで來たが愈よ來る二十五日西公園運動場に遠征軍を迎へることに決した同遠征軍は新京で二回對戰後吉林へも遠征する筈である

國際列車日時變更

西伯利亞急行列車は從來一週に三回運轉してゐたが十一月十五日から一週に二回と變更した、これに伴ふて新京伯林間聯絡曜日及び時刻も左の通り變更さる

一、新京發日、水（午前八時四十分）滿洲里着二日目午後零時五十五分、モスコー着八日目午後四時五十五分伯林着十日目午前九時五十八分

一、伯林發火、金（午後六時二十分）モスコー着三日目午前九時四十一分、滿洲里着十日目午前二時十四分新京、着十一日目午後三時二十五分（新京滿洲里は滿洲時モスコーはモスコー時伯林は中歐時この間七時間の時差あり）

商標放送
高橋司長が

十九日午前十一時五十分から新京放送局で滿洲國實業部高橋總務司長は滿洲國の商標に就き放送をすることになつた

長春縣の治安確保

本年度最後の治安工作除として新京警備隊を首班とし首都警察廳、新京游動警察隊及び民政部警務司員參加し長春縣一帶を去る十一日より八日間巡回し治安工作に當つたが長春縣の治安狀態は一般に確保され殆ど治安工作の餘地なき有樣で部隊は後顧の憂ひなく歸京した

▲平安町三丁目四號ノ七鶴來政雄氏二女禎さん十五日出生

▲吉野町一丁目二十一番地二坂本佐智子さん十七日午後三時死亡

鮮魚小賣相場

品名	價	品名	價
活鯛	一一〇	チヌ鯛	三六
小鯛	六二	マグロ	一〇
カワナ	三二	ボラ	二六
ヒラス	二六	サハラ	四〇
スヽキ	一四	ブリ切	一三〇
サバ	二〇	カレ	二〇
ヒラメ	一五	ボラ	二〇
コノシロ	二〇	キス	一九
イワシ	一八	マナカツ	六六
タチ	一三	ハゼ	三二
サヨリ	五二	タコ	二〇
イヒタコ	一五	甲イカ	三五
水イカ	二六	車エビ	八〇
中エビ	三六	カニ	二〇
ナマコ	一〇	カキ	三〇
ハマグリ	三〇	シジミ	八〇
カマボコ	二五	サク	二〇
カレ	一〇	タラコ	一七

スケートのお薦めと注意（上）

新京地方事務所　高橋　忠

一、スケート

スケート技にはスピードスケート、描型（フィギアー）スケート、ホッケースケート（其他二三の娯樂的競技もあります）とありこれを行ふスケートにも便利上各種ありますが始めて滑られる方には如何なる種類のスケートがよいかといふはスケートを滑る目的に依つて選擇すべきでありますが描型スケートに依つて先づスケートの要領を會得して更に技術的に或はスピードスケートによつてスケートに入ることが順序ではないかと思ひます

「勿論これは私の經驗からでありますが私は最初スケートを始めるとき或る先輩の薦めに依りホッケー用のスケート（氷の接觸面が直線）を買求めましたが非常に練習が容易でありましたが少し進歩してフキギアー用スケートに改めた時要領が異り再び初心者同樣の苦心と醜体を演じました」スケートの形上は不幸にして新聞紙上に圖解して説明することが出來ませんが御求めになる際御店についてフキギアー用スケートと申されてお求めになることを御薦めいたします

×

フキギアースケートにも數種ありまして極安價なる座金に依り普通はきの靴に取付けるものと靴に確かりと固定して取付ける物でありますが少くともスケートを熱心に練習される方はスケート用の靴を別に買求めて取付けて置く方が總べて便利でありましてスケートの大きさも各自スケーターの足の大小に依り異りますがスケートの刄の長さは靴の長さを越える事最大三センチメートルのものたることを即ちスケートの前後一及至一、五センチメートル靴より外に出て居ることでありますスケートの種類も現今では多數ありますがこゝに圖解してこれに對する特長欠點を述べることが出來ませんから信用ある店に於てスケート練習の目的に依り選擇の上お求め下さい

×

ついでにスケートの手入法を簡單に申述べて置きませう。スケートは兩側面の下方の刄（即ち接觸面の兩角是をスケートの刄と稱します）で滑るのでありますから出來るだけ鋭利に研いで置くことが第一必要なことであります之が爲めにはスケートの下表（刄）を油研石（俗に金剛砂、研石を油研石と稱して居るが眞珠の油研石は高價であり一般に自由に求めることが出來ませんから金剛砂研石だ細く目の細いものであれば適當であります）で撹攪油又は原石油を塗つて縱に平均に兩角を平行に研ぐのでありますがこれは相當熟練を要することでありますが必ず使用後は研石を以て研ぐことを忘れてはなりません二三日使用を續けてから研ぐと研ぎ上げるに非常に骨が折れますが使用毎に研ぐ時は僅か數回で充分でありますフィギアー用のスケートには最初及びこれは研ぐ時に丸の研石を以ての中央が丸く溝がありますがての溝の通り研ぐことが最も理想的であり絶對必要でありますが不幸にして丸の研石は余り販賣されて居らず其の上研ぐ人も手數の爲めに溝をつぶして平面として研いで居りますがこれは決してよいことではありませんが不得止ないことであります次に屋内（仕度小屋）から氷上に出るときに木の床の上にある釘等にぶつけてスケートの刄を損ぜざるやう靜かに足元を見て歩き齒皮革又は厚い布で作つた氷の上で手易くぬけるやうにもスケートを大切にする上に特別なカバーを使用することも必要なことでありますこのカバーを作るには何等面倒な事なく一取の皮革又は厚い布を二つに折つて其の端をスケートにぴつたりと合せてぬけぬ樣に縫ひ合せばよいのでありますが問先の彎曲したスケートにはカバーの緩方にゴムを縫ひつけるのであります

×

其他手入としては使用後は必ず氷の附着を取り乾いた布でよく水分を布き取り二三日使用せざる場合は油を金屬の部分に塗つて置くことが必要であります

広告と圖案の話（五）

鳳三堂主人

この中には市内でも一流の商店で殊に商賣柄意匠や流行などに常に魁けて尖端を行く呉服屋さんなどのものもあつたやうです、引札を有効化す配布方法として新聞折込みを利用することは時間と費用を節約されて誠に簡便です、けれどこの市内では單に新聞折込みばかりで一度も未だ各戸へ投げ入れた引札をも受けたことが無いです

冗談云つちやいけない滿洲は寒い……よ、成程こうした論係上不性がさせる新聞折込みを習慣づけたのでありませう

一寸待つた、滿洲だつて暑い夏もある、こ　暑中にも遺憾作ら見受けなかつたです、引札の配布方法も多樣にありますが就中自店の人が各戸へ配布して廻るのが一番に確かでありませう

人夫に配布さす場合はよく選定することで不正な人夫は只日當目當の仕事の爲めに正直に配布せず數枚又は數十枚をつかんで投げ込んだり無暗に通り人や子供等に與へて大きな無駄を平氣でやります結局自店の者が配布して歩く方法が一番良い、同じ配布するにも單に事務的に投げ入れるのを一歩進んで啞じない限り「今日は」とか「お寒う御座います」とか或は一寸でも會釋する位の熱を持つて各戸へ配布してほしい

時には「どなた」「何んですか」などと言葉をかけられるかも知れぬ、そんな時面喰つては駄目。すかさず「林屋商店の賣出しで御座います」と云つて引札を渡すだけの機智と勇氣と親切さが必要です、先方に良い感じを與へて寧ろ朗かな氣持ちとなるもので要するに引札を生かしてつかふことになります

引札の圖案は、新聞廣告の黑一色刷りと違つて好みの色彩が使へて大きさも割合自由ですから思ふまゝに考案が出來ます、普通は一色刷から二、三度程度のものが一番廣く多く應用されます特種な營業でない限りは五、六度以上のものは普通引札としては無駄です

自動車運轉手　六十名を募集

鐵路總局では自動車運轉手日人三十名、鮮人三十名、修理工日人若干名を募集することになつた、應募資格者は二ケ年以上自動車運轉手の實務に從事し、關東廳の免許證を有する者及び五ケ年以上自動車修理の經驗を有する者、受付締切は十一月二十日、その他の注意は左の通

一、應募者は下記書類を受付締切期日までに總務處人事科宛提出すること

履歴書（自筆）身体檢査書（滿鐵醫院作成のもの）寫眞（手札形半身像）

一、試驗施行日時　自十一月二十八日至三十日毎日午前九時より

一、試驗施行場所　鐵路總局

一、待遇その他　總局員（滿鐵社員に非ず）として採用し滿鐵沿線外の滿洲國内邊陬の地に配屬の豫定、收入月收額は勤務地に依り一定せざるも次の如し

運轉手日人國幣七五圓乃至百圓　鮮人同四十圓乃至六十圓　修理工國幣百圓見當

一、人事科において受付書類審査の上受驗有資格者に對しては受驗票を送付

晝食を節して國防義金へ　けなげな吉林大和なでしこ

（吉林十七日發國通）國民精神作興週間中吉林居留民の愛國心の一端を示す國防獻金の美談がある

吉林新開門外家政婦看護婦會の若い娘さん達十一名は週間中晝食を節約し乘物を廢して得た金十五圓を國防義金として民會へ屆出たがその健氣さは居留民の感激の的となつて居る

四平街　武藤巡査の葬儀

四平街署勤務武藤俊夫巡査は去る十五日の朝昏睡狀態に陥り脚氣衝心の疑にて直ちに當地滿鐵醫院に入院加療中、藥石效なく遂に十六日午前一時二十分永眠し、十八日午後一時より市内平安寺に於て葬儀を執行した

全日本シングルス選手權　西村優勝

（東京十七日發國通）全日本シングルス庭球選手權試合は十七日午後一時高專コートで最終試合を擧行したが左のスコアで結局慶應の西村が全日本選手權を獲得した

西村（慶）　6366 ―― 2641　藤倉（明）

ラヂオ

十九日（日曜日）新京

午前十一時五〇分講演　商標に就て　實業部總務司長　高橋康順

午後五時〇分子供の時間子供の音樂（レコード）解說付

同五時三〇分演藝（鮮語）

同五時五〇分ニュース（鮮語）

同六時〇分ニュース（東京より）

同六時二〇分演藝

同六時四五分ニュース氣象豫報、プログラム豫告

同七時〇分演藝（滿洲語）坐宮　西群仙　銀子

同七時三〇分講演（滿洲語）

同八時〇分ニュース氣象豫報、番組豫告（滿洲語）

同八時三〇分時報（東京より）

同八時三一分ニュース（東京より）

同八時四五分時事解說（朝鮮語）

同　滿洲の治安情況に就て　民政部警務司　黃金山

同九時〇分演藝（奉天より）箏曲、尺八合奏、一、嵯峨の秋、箏本手、森谷迫子、同小野滿代　二、松上の鶴、箏替手、雅名和幸、同勝川徳子、三、春興、尺八中園綾山、箏同名加子、同館田芳子

變幻黑船往來

無斷轉載上映及上演

寺島柾史（作）　布施長春（畫）

第百八十回

破船（十）

少佐はよろ〳〵となつた。それへ二の太刀を加へて、典膳は同じく色を失つてゐるお愛に向ひ、

「千代どのはどうした」

黒船は、津輕海峽を函館に間近にして無態にもこく〳〵に傾いてゐた。

さしも、暴威を揮うたフランス東洋艦隊の旗艦アレキサンテル號の、今が最期なのだ。甲板にはだんぶくろの士官水兵達が往生際悪く右往左往してゐるさまは見苦しいが、さりとて決死の男を揮ひ、船ていへ降りて行つたところで、この急場を救ふことが出來ないのはわかりきつてゐる。

彼等は、唯一の逃げ場――數艘の蠅艇を取囲んで、わいわい騒いでゐる、遅おくれまいとして先を爭ふので、しぜん、だんぶくろたちのあひだに醜い爭鬪が起こる。

蠅艇は、おろされた。黒船を見棄てるフランス兵たちは折重なつて滿載し、一隻々々未練もなく舷側を離れる。

海峽は日沒に近かつた。名物の高浪がでゝゐた、海はあかね色にもえ、風も强かつた。そのために折角離れた蠅艇も、高浪のあほりをくらひ狼狽するだんぶくろたちを滿載してゐるため、またゝくまに顚覆する。

ぬれ鼠の水兵たちは波浪のあひだに明滅し、哀叫する聲が斷續するが、それもしだいに姿を消してしまふ。

次の蠅艇もその次のボートも過載な人のために、高浪のあほりを喰ひ、次々と同じ運命を繰返すのだ。

しかし、そんな、海上の慘憺事など眼にも入らぬとみえ、船上に取殘された水兵たちは、いまは最後の一せきとなつたボートを取囲んで、相變らず醜い爭鬪を演じてゐる。このボートに取殘されたらもう外に逃げ口はないのだ。

船は、こくこく傾いてゆく、冷酷に、むしろ當然のことのやうに沈んでゆくのだ。

もう、一寸のゆう豫がならぬ。

と、そのとき、夕陽に赤くそめられた船上に美女を横抱にした壯漢が忽然として現はれ、ボートを取かこみ爭鬪する水兵たちの方へ嵐のやうに物すごくかけてくる。

づぶぬれの半裸體の壯漢だ。大たぶさの髮は亂れ、眼は窪んでをれど、らんらんと輝き、口を一文字に結び、眉は盛上つてゐる。

この壯漢、すなはち船ていに大穴をあけた當の夏川左京だ。抱へられた美女、高帶姿の優美なキモノを着た日本ムスメは、もちろん千代……。

「退けい！」

幾月、船ていに幽閉された男とは、到てい思はれぬ超人的な怒號だ。

「退けい！」

この怒號におどろいて、爭鬪する水兵たちは、おもはず一齊に振返つた。

――？？？

水兵たちは、異口同音にわめいたが、互にボートの縁をつかみ足をかけたまゝ、われさきにボートへ乘移らうとしてゐることはやめぬ。

「千代どの、暫時ここに待たれ」

左京は横抱きにしてきた千代をとある帆綱の根元におろし、腰に纏るぼろ〳〵になつた裁袴を引裂き、とつさに身輕になつて水兵たちの方へ進んだ。